

令和7年度
事業計画

社会福祉法人 緑会

緑 会 理 念

- | | |
|------------|------------------------|
| 仁 愛 | 家族に身になって病める人の心を大切にする |
| 信 頼 | 信頼されるに足る知識と技術を持つよう努力する |
| 貢 献 | 医療・保健・福祉を通じて地域社会に貢献する |

令和7年度テーマ

『Well-Being～もっと食べる、もっと話す、もっと笑う～』

基 本 方 針

介護が必要となった主な要因は、認知症と運動器の機能低下によるものが約50%を占めている。日常生活を過ごす中で、筋肉量が減少し、筋力や身体機能が低下（サルコペニア）することにより、運動機能が衰えて要介護や寝たきりになる（ロコモティブシンドローム）ことが考えられる。

そうならない為にもフレイル予防することがとても重要で、3つの柱（栄養、運動、社会参加）を活かして、利用されている方々が生きがいをもって生活していけるよう、職員一人一人が「もっと食べる、もっと話す、もっと笑う」を意識して関わることで、Well-Being（身体的・精神的・社会的に良好な状態）となるよう、その人に合った支援を行うよう取り組みます。

重 点 目 標

1 フレイル予防の実施（見える化）…もっと食べる

- ・栄養（食・口腔機能）摂取するための状態を把握し、食欲増進や口腔機能の向上などを行いながら、十分にバランスよく食事が取れるよう取り組む
- ・運動することで筋肉量を維持し、身体機能が維持できるよう取り組む
- ・社会参加できるよう、その人に合った取り組み考え、意欲を引出し活動できるよう工夫する

2 その人（認知症・障がいなど）に合わせた支援…もっと話す

- ・ユマニチュード（その人らしさ）によるケアが提供できるよう関わる
- ・認知症や障がいのある方であっても、会話などをとおしてその人の意向や思いを引出しその人に合わせたケアを行う

3 利用者支援のための職員の連携強化…もっと笑う

- ・それぞれの利用者の方々への関り方を考え、情報共有することで一貫したサービスが提供でき、穏やかに職員も利用者も笑顔のある雰囲気支援できるように工夫する
- ・改めて業務を見直し、生産性向上のための検討を行い、職員が質の高いサービスが提供できるよう取り組む

実 施 策

1 フレイル予防の実施（見える化）…もっと食べる

高齢者が要介護状態になる要因は、サルコペニア（加齢による筋力低下症）から、ロコモティブシンドローム（移動機能の低下）となり、フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）状態になることが考えられる。

その予防のためには、口腔機能を維持し食欲増進することで運動機能の維持や社会的活動への意欲向上につながる。その為には、その人に合った関り方を考え、職員が協力して支援できるよう、見える化し、評価、見直し、実践していく。

2 その人（認知症・障がいなど）に合わせた支援…もっと話す

高齢の方は加齢に伴う身体の変化だけでなく、認知症や障がいがあることで日常生活に支障が出てくることがある。それに対応するためにも、認知症の理解や障がい特性の理解をし、その人に寄り添い、支えられるような関りをするすることで、その人それぞれの思いや意向を引出して、その人に合ったサービスが提供できるよう対応する。

3 利用者支援のための職員の連携強化…もっと笑う

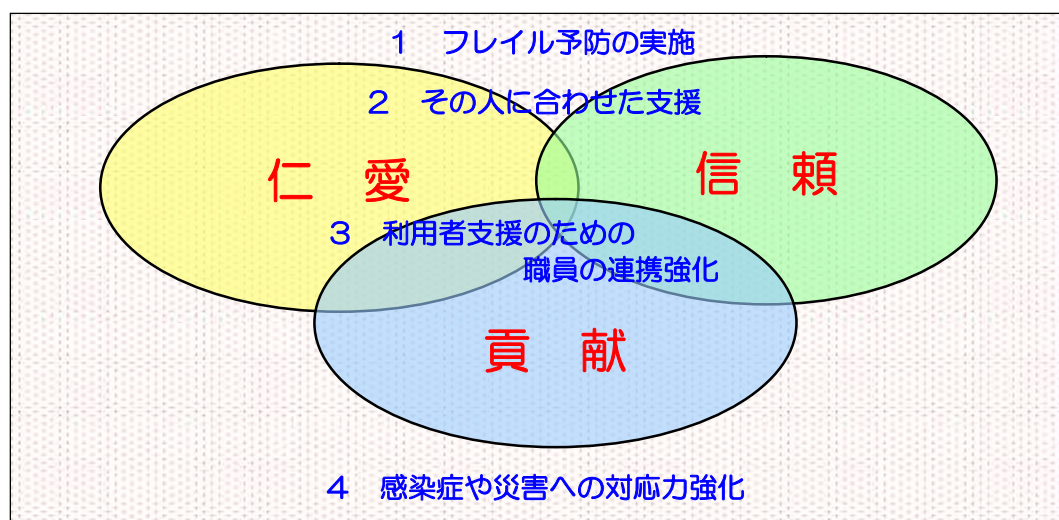
利用者の状態に合わせた支援を行うためにも、一人一人を観察し、持っている能力を活かせるように、その人に合ったサービス提供するための内容を考え、チームとして対応できるように協力する。

その為にも、情報共有して利用者の方々にとって有意義で、笑顔があふれるサービスが提供できるよう、職員が連携して、業務内容を見直し工夫することで、法人全体のサービス向上につなげる。

4 感染症や災害への対応力強化

まだまだ感染症の流行が続く中、感染対策を行い、また災害時においてもサービスが継続的に提供できるよう、BCP（事業継続計画）を推進するための、感染症対策や災害時の対応訓練や準備を実施して、利用される方々に安定したサービスが提供できる体制を作る。

事業実施図（令和7年度）



1. 各種会議・委員会一覧

【 えんやまグループ 】

名 称	開催日時	内 容
法 人 会 議	毎週木曜日 8:00～9:00	グループ内で経営や運営上検討すべき課題の検討や制度改正、雇用状況等の共通理解を深める
グループ運営会議	毎月最終火曜日 13:30～15:00	理事長以下グループ内各部署長・課長級の職員が参加し、事業運営や課題について検討する。

【 緑 会 】

名 称	開催日時	内 容
緑会運営会議	毎月最終月曜日 12:45～13:45	法人全体の経営・運営に関すること
衛生委員会	毎月最終月曜日 12:30～12:45	職員の衛生・安全・健康の確保・職場環境に関すること
千寿苑リーダー会議	毎月第1週月曜日 12:30～13:00	部署間の情報共有、リーダーとしての資質向上、課題解決能力・職務執行能力向上のための研修会 等
千寿苑業務会議	毎月第3週月曜日 12:30～13:00	施設全般の運営・管理等に関すること施設全般における業務全般・苦情に関すること
入居検討委員会	毎月最終金曜日 14:00～15:00	施設入所決定等に関すること
生産性向上委員会	奇数月第1金曜日 12:30～13:00	現場における課題を抽出及び分析した上で、各事業所の状況に応じて利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討する
安全・感染対策委員会	毎月第2火曜日 12:30～13:00	リスクマネジメントの手法を用い、事故（転倒・誤嚥・誤薬・異食・その他の事故）の防止対策と事故が発生した場合、その分析や対応、再発防止のための対策を検討、実施することや、感染症及び食中毒の予防並びに蔓延の防止対策や環境衛生等の改善についての検討、実施
合同栄養委員会	偶数月第2金曜日 12:30～13:00	施設で提供する食生活全般に関すること
地域活動委員会	偶数月第4金曜日 12:30～13:00	各施設単位、法人単位、そしてえんやまグループ全体の地域活動を担当し、企画の立案や提案、地域からの依頼等の調整を行う
防災委員会	偶数月第3水曜日 12:30～13:00	建物全体の防災計画、月例点検、避難訓練の計画と実施、災害時の対策に関
褥瘡対策委員会	奇数月第2金曜日 12:30～13:00	施設全般における褥瘡予防・対応に関すること
身体拘束廃止委員会	奇数月第3水曜日 12:30～13:00	施設内における身体拘束の廃止及び虐待防止のための取り組みの検討、実施に関すること

2. 各事業所別事業計画・行事等予定・研修予定

介護老人福祉施設 千寿苑

介護老人福祉施設
短期入所生活介護
介護予防短期入所生活介護

令和7年度テーマ：『Well-being』 良好な状態：身体的・精神的・社会的に！ ① もっと食べる ② もっと話す ③ もっと笑う
(部署：入所・短期入所)

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I. 活動量を増やし、食事をおいしく食べる	1. 対象者を選定(各階3名)、食事内容や摂取状況を見ながら多職種で連携し、食欲増進や口腔機能維持につなげる。	(1) 個々にあった運動メニューを立て実施する。 (2) 口腔ケア計画書に基づいた、口腔ケアを行う。 (3) 食事摂取量を1か月ごとに観察し数値化する。 (4) 半年に1回カンファレンス時に多職種で情報共有して検討、次のケアにつなげる。	
II. 安心して、気軽に思いを伝えられるように工夫して関わる	1. 生活歴や職歴などを聴き取って、ユマニチュードを意識して、個々に応じた関わりを持つ。	(1) ユマニチュードの4つの柱に基づいたケアを実践する。 (2) 認知症の方への対応について研修会を実施する。(4月) (3) 利用者へ意向調査を行い趣味、嗜好などを確認し関わっていく。(4月) (4) 苦情があった場合は、対応策を話し合い統一したケアを行う。	
III-1) 笑顔を増やす	1. 情報共有し、楽しく過ごす時間を増やす。	(1) ご家族にも協力いただき、時代背景や生活歴に合わせた関わりをする。 (2) 新しいイベント内容を取り入れたり、余暇活動に多くの利用者が参加できるように時間の調整を行う。	
III-2) 日々の業務を見直して、多職種で連携し気持ちよく仕事ができる	2. 良好な関係を築きチーム力を高め、各専門職が連携して円滑に仕事をする。	(1) 多職種間で報告、連絡、相談を意識しながら協働する。 (2) 生産性向上委員会と連携し業務改善を図る。 (3) 見守り機器などを活用し業務の効率化を図る。 (4) 見守り機器などの取り扱い方法などについて勉強会を行う。(10月)	
IV. 感染症や災害への対応を準備しておく	1. 感染症が発生した時に、迷わず対応できる。 2. 地震の体験を基に、事故に繋がらないように環境を整備しておく。	(1) BCP シミュレーション訓練を行う。(2回/年) (2) フロアー内の物品配置などを定期的に検討する。	

令和7年度年間行事等事業計画書

部署名： 入所

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	花見ドライブ		※ 随時受入予定
5月	つつじドライブ		
6月	能登里山里海ミュージアム見学		
7月	千寿苑夏祭り		
8月	家庭菜園野菜等を使用した焼きそば作り		
9月	敬老会	※認定こども園と交流含む	
10月	千寿苑食堂		
11月	紅葉ドライブ		
12月	クリスマス会		
1月	正月遊び		
2月	節分		
3月	ひな祭り		

令和7年度

施設内研修予定表

部署 入所

開催日	研修内容	場所	参加職員
4 月	認知症の方への対応 (ユマニチュード：その方に応じたケア)	2・3 階デイルーム	全職員
5 月	食中毒	〃	〃
6 月	業務継続計画（BCP）勉強会①	〃	〃
7 月	職員の倫理、プライバシー	〃	〃
8 月	事故発生時の予防①	〃	〃
9 月	誤嚥～心肺蘇生①・身体的虐待①（委員会）	〃	〃
10 月	感染症の種類と特徴（机上）① 見守り機器などの活用方法	〃	〃
11 月	BCP（自然災害発生時の対応）勉強会②	〃	〃
12 月	看取り・精神ケア 感染症：発生時のシミュレーション練習②	〃	〃
1 月	褥瘡予防	〃	〃
2 月	高齢者の病気 事故予防時の対応について②（福祉用具）	〃	〃
3 月	誤嚥～心肺蘇生② 身体拘束と虐待②	〃	〃

※年に2回島田歯科先生の口腔ケアについて、クリニックと合同

令和7年度

施設外研修参加予定表

部署 入所

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	安全対策・リスク管理	石川県	未定	ケアマネ：達 一樹
〃	認知症介護実践者研修	〃	〃	介護職：横山 知香
〃	認知症介護実践リーダー研修	〃	〃	介護職：中道 信夫
〃	感染対策について	〃	〃	感染災害等対策委員
〃	身体拘束・虐待について	〃	〃	高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員
〃	介護支援専門員 更新研修	〃	〃	相談員：小林 直樹
〃	看取りについて	〃	〃	看護または介護職

※ 上記のほか、開催案内のある研修を適宜検討し受講させる。

デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

通 所 介 護
七尾市介護予防・日常生活総合事業

令和7年度テーマ：『Well-being』 良好な状態：身体的・精神的・社会的に！ ① もっと食べる ② もっと話す ③ もっと笑う
部署：通所介護（せんじゅ・なでしこ）

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
1. フレイル予防の実施	- 機能訓練計画書に基づき、その人に合った運動を行い、身体機能を維持する。職員が一体的に支援できるよう、評価・見直し・実践する。 - 十分にバランスよく食事がとれるよう、嗜好の確認・食形態の検討を行う。摂取量低下や体重減少があれば、多職種で検討・共有し、食事内容を検討する。 - 口腔機能向上や食欲増進のため、体操を行う	- 個別機能訓練書に基づいた訓練の実施 6か月毎に握力測定・バーセルインデックスによる評価を行い、本人様とCMに書面でフィードバックする 3か月ごとにモニタリングを行い、機能訓練計画書に反映し、評価・見直し - 利用開始時に嗜好調査を行う。 - 状態の変化があった場合に、多職種で共有し、食形態の変更を検討する。 - 口腔ケア時に、口腔内の異常を確認する。 - 嚥下体操・あいうえおストレッチ・リップタントレーニングを実施する。	
2. 認知症・障害を持つ方の対応	- 認知症や障害のある方でも、会話を通して、その方の意向や思いを引き出し、活動できるよう取り組む。 - チームとして対応し、その人に寄り添い、支えられるよう協力してサービスを提供する	- ユマニチュードの見る・話す・触れる・立つの4つを継続し、半年毎に自己評価し、改善につなげる - 認知症や障害の程度を全員で共有し、その方に合った統一したケアを行う。 - 対応に困る場面があれば、全職員で意見を出し合い、検討を行い、記録に残す。	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
3. 利用者支援のための 職員の連携強化	・ 興味・関心チェックシートを用いて、個別対応を行い、利用者の笑顔を引き出す。 ・ それぞれの利用者への関わり方を考え、情報共有し、一貫したサービスが提供でき、穏やかに職員も利用者も笑顔のある雰囲気支援できるように工夫する ・ 職員が質の高いサービスが提供できるよう取り組む	・ 興味・関心チェックシートを用いて、話す時間を増やし、本人様の楽しみの時間を増やす。 ・ 業務の見直し・効率化を行い、穏やかに利用者に関わる時間を増やし、ニーズを聞き出し、ミーティング時に話し合い、全員で共有する。 ・ 研修や勉強会に参加し、伝達講習を行い、すぐに実践につなげ、質の高いサービスを行う。参加できない職員には動画で共有する。	
4. 感染症や災害への対応力強化	・ 感染症・災害時もサービスが継続的に提供でき、一人一人が何をすべきか考え、行動できるよう、BCP を推進するための訓練・準備を実施して、利用される方々に安定したサービスが提供できる体制を作る	・ 伝言ダイヤル・避難訓練の実施 ・ BCP 訓練の実施 ・ 災害（福祉避難所運営を含む）10 月 感染 1 2 月 ・ 研修伝達講習の実施 8 月 ・ 職員間グループ L I N E の共有。	

令和7年度年間行事等事業計画書

部署名： せんじゅ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	花見ドライブ 桜湯		※随時受入する
5月	新緑ドライブ しょうぶ湯		
6月	あじさい湯	こども園児との交流会	
7月	買い物ツアー 笹の葉湯	千寿苑夏祭り	
8月	せんしゅ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	百寿の祝い オリーブ湯	徳田まつり	
11月	買い物ツアー さざんか湯		
12月	忘年会 ゆず湯		
1月	初詣 松湯		
2月	法話 梅湯		
3月	菜の花湯	グループデイ国分との交流会	

令和7年度年間行事等事業計画書

部署名： なでしこ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ		※随時受入する
5月	母の日カーネーション贈呈		
6月	なでしこ運動会		
7月	初夏ドライブ	千寿苑夏祭り	
8月	なでしこ夏祭り		
9月	敬老会	一本松奉仕作業	
10月		徳田まつり あさひこども園との交流会	
11月	紅葉ドライブ		
12月	年忘れ会		
1月	百寿の会 新年会・初詣		
2月	もちつき		
3月	ひな祭りのつどい		

令和7年度

施設内研修予定表

部署 通所介護（デイサービス）

開催日	研修内容	場所	参加職員
4月	職員倫理（講師 素波）	デイルーム	全員
6月	入浴介助（講師 宮崎）	デイルーム	全員
8月	認知症（講師 山口）	デイルーム	全員
10月	B C P 訓練（講師 永松）	デイルーム	全員
12月	感染症（講師 古川）	デイルーム	全員
2月	身体拘束（講師 宮本）	デイルーム	全員

令和7年度

施設外研修参加予定表

部署 通所介護（デイサービス）

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
	高齢者施設初任者研修	石川県社会福祉協議会	金沢市内	山口
夏	認知症介護実践者研修	石川県社会福祉協議会	W e b	政島
冬	認知症介護実践者研修	石川県社会福祉協議会	W e b	永松
8/18	「災害時」の介護現場の対応	介護労働安定センター	W e b	大橋
1/19	介護事故トラブルを防ぐポイント	介護労働安定センター	W e b	素波

介護老人福祉施設 千寿苑
デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

栄 養 課

令和7年度テーマ：『Well-being』 良好な状態：身体的・精神的・社会的に！ ① もっと食べる ② もっと話す ③ もっと笑う
 部署： 栄養課

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
1. フレイル予防の実施(見える化) ・・・もっと食べる	・ 食事をおいしく楽しく召し上がっていたく。 ・ 栄養状態・口腔機能を維持する。	・ 献立がマンネリ化しないよう工夫する。 ・ 行事食、郷土食の提供。 ・ クッキングの継続。 ・ 栄養アセスメントと多職種での食事観察にて、 ・ 栄養状態や口腔機能を把握。その状態を維持・改善するための対応および食事内を検討。 (経過記録にて情報共有)	
2. その人(認知症・障がいなど)に合わせた支援 ・・・もっと話す	・ 利用者様とお話しする機会を増やし、 ・ ご意向や状態を把握しながら対応する。	・ 食事観察(3回/週)、食事介助、居室訪問など。 ・ 嗜好調査実施。(2回/年) ・ 多職種での情報交換。	
3. 利用者支援のための職員の連携強化 ・・・もっと笑う	・ コミュニケーション力強化。 ・ 食事作りを通して利用者様の健康状態を維持する。	・ コミュニケーション力の自己評価をおこない、 ・ より話しやすい雰囲気をつくる。 ・ 研修会への参加と部署内研修の実施(資質向上)	
4. 感染症や災害への対応力強化	・ 状況を把握したうえで、マニュアルをもとに考え、連携し、行動する。	・ マニュアルの把握と見直し。 ・ 各種訓練の実施と参加。	

令和7年度年間行事食等計画書

部署名： 栄養課

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ご膳		
5月	こどもの日 行事食 ※嗜好調査①		
6月	あじさいご膳		
7月	七夕 行事食 土用の丑の日（うなぎ）		
8月	季節を感じるご膳		
9月	敬老の日 行事食 お彼岸（おはぎ）		
10月	行楽弁当		
11月	紅葉ご膳 ※嗜好調査②		
12月	冬至、クリスマス食 大晦日（年越しそば）		
1月	正月料理 七草がゆ		
2月	節分 行事食 バレンタイン		
3月	桃の節句（ひなまつりご膳） お彼岸（ぼたもち）		

令和7年度

施設外研修参加予定表

部署 栄養課

開催日	研修内容	場 所	参加職員
4 月	新人教育について （講師：北山施設長）	栄養課内	対象栄養課職員
6 月	手洗い、食中毒について	〃	栄養課職員全員
10 月	災害・感染症への対応	〃	栄養課職員全員
2 月	高齢者の摂食嚥下について	〃	栄養課職員全員

令和7年度

施設外研修参加予定表

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	生涯学習研修会	石川県栄養士会	未定	管理栄養士/栄養士
未定	管内栄養士研修会	能登中部保健センター	未定	管理栄養士/栄養士
未定	石川県災害支援栄養士研修会	石川県栄養士会	未定	管理栄養士
未定	摂食嚥下、栄養管理等に関する研修会	石川県栄養士会 食品メーカー 他	未定	管理栄養士
未定	老人施設栄養士・調理員等研修	福祉総合研修センター	未定	栄養士/調理員

グループホーム やくしの里

認知症対応型共同生活介護
介護予防指定認知症対応型共同生活介護

令和7年度テーマ：『Well-being』 良好な状態：身体的・精神的・社会的に！ ① もっと食べる ② もっと話す ③ もっと笑う
部署：やくしの里

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
1 筋力維持に努める	1. 筋力低下予防に努める (1) 下肢筋力低下予防 (ア) 足上げ運動(ハードル歩行) (イ) リズム体操・ラジオ体操の実施 (2) 天気の良い日の坂道昇降散歩 (3) 年間を通しての畑仕事 (4) 歩行速度・握力測定	(1)(2)転倒リスクのある利用者を対象とし毎日行えるように チェック表の記録実施 歩行状態についてミーティング時に情報共有する (3) 畑の年間スケジュール表作成 (4) 4月に基本能力測定行い、家族にご様子にて報告	
2 その人それぞれの思 いや意向を引き出し もっと話す	1. その人に合わせた支援 (1) 利用者の目線に立ち、穏やかにやさしく常に利 用者の事を思っている事を意識する (2) 嗜好食事の提供 (3) 利用者ごとに異なるニーズに対応する (個別支援) ※随時	(1) 1日1回は利用者と席につきコミュニケー-ションをとる(回 想法: 昔の歌、遊び、楽しかったこと、家族との思い出な ど) (2) 食いたい料理や野菜・肉などを聞き、食欲を引き出す 嚥下状態の確認(随時)、 口腔内の口腔スクリーニング 1/6ヶ月 (3) 4月に本人の意向を聞き、何をしたいかなどを聞き出し、 それに沿った個別支援を行う [例]畑をしたい:野菜を作り収穫の喜びを味わう。 花をみたい:育てる。または見に行く。	
3 職員のチームワークと しての連携を強化	1. 職員間の連携を強化する	(1)ミーティング時に利用者一人一人の意見交換と情報共有 を行う (2)業務内容の見直し	
4 感染症や災害への対 応強化	(1) 感染蔓延防止に努める ・感染時の初期対応力の強化 ・感染対策の勉強会 (2) 災害に備える事で介護サービスを継続する	(1)・シミュレーションの実施・物品確認 ・BCP 見直し ・感染対策勉強会(4・12月) (2) 訓練実施(断水、停電) 物品・備蓄品の確認(年1回)	

令和7年度年間行事等事業計画書

部署名： やくしの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学・その他
4月	花見		
5月	でか山見学 避難訓練 菖蒲湯		
6月	個別支援 ワックス	あっとほ一むコモドとの交流会	
7月	七夕まつり 災害訓練・停電 千寿苑夏祭り参加		
8月	花火 流しそうめん		
9月	個別支援 お彼岸おはぎ作り 災害訓練・断水	南大吞祭り	
10月	家族旅行 避難訓練		
11月	紅葉ドライブ		
12月	クリスマス会 ゆず湯、ワックス おせち作り・年越しそば		
1月	おせち提供 正月遊び 七草粥（		
2月	節分		
3月	ひな祭り お彼岸おはぎ作り ワックス		

令和7年度

施設内研修予定表

部署 やくしの里

開催日	研修内容	場所	参加職員
4 月	感染対策について	やくしの里リビング	職員全員
5 月	身体拘束	やくしの里リビング	職員全員
6 月	認知症	やくしの里リビング	職員全員
8 月	身体拘束	やくしの里リビング	職員全員
10 月	認知症	やくしの里リビング	職員全員
11 月	身体拘束	やくしの里リビング	職員全員
12 月	感染：シミュレーション	やくしの里リビング	職員全員
1 月	認知症	やくしの里リビング	職員全員
2 月	身体拘束	やくしの里リビング	職員全員
4 月～3 月	接遇：ミーティング時に言葉遣いの振り返り	やくしの里リビング	職員全員

令和7年度

施設外研修参加予定表

部署 やくしの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
6 月	感染症と食中毒の対策強化	介護労働安定センター	Web セミナー	福井早苗
6 月	介護支援専門員更新研修（専門研修課程 1）	石川県	Web セミナー	石垣初江
8 月	『災害』の介護現場の対応	介護労働安定センター	Web セミナー	石垣初江
11 月	虐待防止と身体拘束の防止	介護労働安定センター	Web セミナー	吉野真由美

小規模多機能型居宅介護施設たかしなの里

小規模多機能型居宅介護
介護予防小規模多機能型居宅介護

令和7年度テーマ：『Well-being』 良好な状態：身体的・精神的・社会的に！ ① もっと食べる ② もっと話す ③ もっと笑う
部署：たかしの里

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
1. 「楽しい」「うれしい」と感じる食事を提供し、利用者の気持ちを前向きにする	1. 栄養バランスを考えつつ、五感を使って食事を楽しめるよう工夫する	① 季節の旬な食材を使用し、引き続き心温まる家庭的な食事を提供する ② 利用者個々の身体の状態や嗜好、生活習慣、摂食嚥下能力を把握し、個別に対応する	
2. 利用者・家族・職員間でのコミュニケーションを深める	1. 丁寧なコミュニケーションを通して利用者・家族・職員の心を理解する	① 業務の見直しを行い、利用者と職員が交流を深める時間を増やす ② アプリでの相談や、送迎時に家族とのコミュニケーションを深め、家族を労い不安に寄り添う	
3. 利用者の笑顔を増やす	1. 心のケア、生きがい作り、社会参加を促進する	① 一人ひとりの個性や希望に寄り添ったケアを提供する ② 行事・レクリエーション企画力と実行力の向上 ③ レクリエーションや会話のなかで笑顔を引き出せるよう、コミュニケーション技術を高める	
4. 利用者支援のための職員の資質向上と連携を強化する	1. 職員個々の能力・知識を上げ、利用者が安全安心して過ごしていただけるようにする	① 接遇研修を行い定期的に自己評価を行うことで、言葉遣いや態度など自分自身をよく理解する ② 尊厳、高齢者虐待、身体拘束廃止を目的に勉強会を行い、研修で学んだことを実践できているのか評価を行う ③ 自然災害や感染症が発生した場合においても、介護サービスを安定的・継続的に提供することができるよう、業務継続計画(BCP)の研修・訓練を年2回行う。	

令和7年度年間行事等事業計画書

部署名：たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ		
5月	新緑ドライブ 避難訓練（夜間設定）	運営推進会議	
6月	露取り 菖蒲湯		
7月	七夕まつり シェイクアウト 安浄寺お参り	運営推進会議	
8月	たかしなの里交流会		高階まつり見学
9月	敬老会 足湯ドライブ おはぎ作り	運営推進会議	
10月	避難訓練（日中）	池崎町秋の大祭	徳田まつり見学
11月	紅葉ドライブ	運営推進会議	高階芸能祭
12月	ゆず湯 クリスマス会 餅つき		
1月	正月遊び 法話（安浄寺住職）	運営推進会議	
2月	節分		
3月		運営推進会議	

令和7年度

施設内研修予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修内容	場 所	参加職員
4 月	理念と倫理について	たかしなの里事務室	全職員
5 月	プライバシーの保護	たかしなの里事務室	全職員
6 月	ハラスメントの種類と防止	たかしなの里事務室	全職員
7 月	身体拘束廃止に向けて 1	たかしなの里事務室	全職員
8 月	接遇・マナー	たかしなの里事務室	全職員
9 月	BCP（災害編）訓練、非常用発電機取扱	たかしなの里事務室	全職員
10 月	BCP（災害編）の見直し、机上訓練	たかしなの里事務室	全職員
11 月	BCP（感染症）の見直し、机上訓練	たかしなの里事務室	全職員
12 月	業務上の安全対策について	たかしなの里事務室	全職員
1 月	身体拘束廃止に向けて 2	たかしなの里事務室	全職員
2 月	認知症の理解	たかしなの里事務室	全職員
3 月	高齢者虐待防止について	たかしなの里事務室	全職員

令和7年度

施設外研修参加予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
8/15～28	『災害時』の介護現場の対応	介護労働安定センター	W e b	白山 千亜希 宮本 靖也
6/12～25	感染症と食中毒の対策強化	介護労働安定センター	W e b	岩本 珠代
9/11～24	円滑な多職種連携を行うための体制づくり	介護労働安定センター	W e b	岡馬 美裕紀 山外 初美
9/19～10/2	認知症の理解と認知症チームケア	介護労働安定センター	W e b	砂川 さとみ 用下 友美
10/15～28	口腔ケア	介護労働安定センター	W e b	村井 知世 浜高 静子
10 月	感染症研修会	能登中部保健センター	W e b	清酒 律子 畠山 外恵

